

公開実用平成 2-11555

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-11555

⑬ Int. Cl. *

G 11 B 21/08
27/10

識別記号

X
M

庁内整理番号

7541-5D
8726-5D

⑭ 公開 平成2年(1990)1月24日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 CDV プレーヤの手動搜索装置

⑯ 実 願 昭63-82927

⑰ 出 願 昭63(1988)6月24日

⑱ 考 案 者 平 沼 聡 東京都渋谷区渋谷2丁目17番5号 株式会社ケンウッド内
⑲ 出 願 人 株式会社ケンウッド 東京都渋谷区渋谷2丁目17番5号
⑳ 代 理 人 弁理士 砂子 信夫 外1名

BEST AVAILABLE COPY



明 細 書

1. 考案の名称

CDVプレーヤの手動搜索装置

2. 実用新案登録請求の範囲

CDVディスクの映像情報記録部分中のCDVディスクの半径方向において外側へ、および内側へピックアップを移動させて所望の映像に対応する映像情報記録位置の搜索が可能なCDVプレーヤの手動搜索装置において、

前記ピックアップの前記外側への移動の場合における一回のトラック飛び越し量と、前記ピックアップの前記内側への移動の場合における一回のトラック飛び越し量とを相違させてなることを特徴とするCDVディスクプレーヤ^の手動搜索装置。



3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この考案はCDVディスクによる再生映像中の所望映像を手動にて搜索するCDVプレーヤの手動搜索装置に関する。

この明細書においてはデジタルオーディオディ



スクの所定範囲、たとえば外周側の所定範囲にわたって映像信号に対応する情報を記録したディスクをCDVディスクと記する。

(従来技術)

CDVプレーヤの従来の手動搜索装置は、FF方向(ディスクの半径方向において外側)へ、またはFB方向(ディスクの半径方向において内側)へ、ピックアップを所定トラックだけ飛び越し駆動し、所定時間再生することを繰り返して所望の画像に対する映像信号が記録されている位置を搜索していた。この場合に、FF方向へのピックアップの1回の飛び越し駆動量とFB方向へのピックアップの駆動量とは同一量、たとえば64トラック分とし、再生時間についても同一時間、たとえば0.3 secとしていた。

(考案が解決しようとする課題)

従来技術によるときはピックアップを一定トラック数飛び越し、一定時間再生を行なつて、所望位置の搜索を行なうが、CDVディスクの回転数はオーディオ情報が記録されている部分を再生する



ときの回転数よりも、映像情報が記録されている部分を再生するときの回転数が高い。

この結果、F B 方向では、0.3 sec 再生している間にピックアップは相当に、CDV ディスク半径方向における外周側へと進行してしまう。したがって F F 方向と F B 方向とで搜索の速度が変つてしまい、視覚的にも異和感が生ずるという問題点があつた。

この考案は上記の問題点を解消して、F F 方向と F B 方向とで異和感のない手動搜索装置を提供することを目的とする。

(課題を解決するための手段)

この考案は、CDV ディスクの映像情報記録部分中の CDV ディスクの半径方向において外側へおよび内側へピックアップを移動させて所望映像に対応する映像情報記録位置の搜索が可能な CDV プレーヤの手動搜索装置において、前記ピックアップの前記外側への移動の場合における一回のトラック飛び越し量と前記ピックアップの前記内側への移動の場合における一回のトラック飛び越し量と



を相違させた。

(作 用)

したがって、手動搜索のときに、CDVディスクの半径方向における外側へピックアップを移動して搜索する場合と、内側へピックアップを移動して搜索する場合とでは、一回のピックアップ飛び越し量が異なるため、飛び越し毎に再生する再生時間が前記外側への場合と前記内側への場合とが同一であつても、再生画像を視ている人にとつて異和感はなくなる。

(実施例)

以下、この考案を実施例により説明する。

第1図はこの考案の一実施例の構成を示すブロック図である。

1はFF搜索キー、FB搜索キーを含むキー入力部、2はキー入力部1からの信号を読み込み、信号処理回路3、スピンドルサーボ回路5、トラッキング・スレッドサーボ回路6等を制御するマイクロコンピュータである。

信号処理回路3はマイクロコンピュータ2から



の信号によりスピンドル制御回路5を制御し、音声信号をD/A変換器へ出力し、光ピックアップ4から読み取った信号を復調する。

光ピックアップ4はCDVディスクから記録信号を読み取るピックアップである。

スピンドルサーボ回路5はCDVディスクの回転を制御するサーボ回路であり、トラッキング・スレッドサーボ回路6は光ピックアップ4のトラッキングアクチュエータおよびスレッドモータの制御をするサーボ回路である。

7はCDVプレーヤのオーディオ部とビデオ部でのサーボの切替えを行なうA/V切替回路である。

上記の如く構成されたこの考案の作用をマイクロコンピュータ2内のROMに記憶させたプログラムにともなつて、第2図にしたがい説明する。

再生中においてCDVディスクの映像部分を再生中のとき(ステップa)、FF検索キーが押圧されると(ステップb)、トラッキング・スレッドサーボ回路6により光ピックアップ4は64トラック分、CDVディスクの半径方向において外側へ



と飛び越し駆動される（ステップc）。第2図においては外周へキックと表示してある。

64トラック分飛び越し駆動がされるとステップcに続いて0.3sec再生される（ステップd）。FF探索キーが押圧されている間、ステップcおよびdが繰返し実行されて、映像が間歇的に表示されて、CDVディスクの半径方向において外側へと順次探索されることになる。

ステップbにおいてFF探索キーが押圧されていない場合は、FB探索キーが押圧されているか否かがチェックされ（ステップe）、FB探索キーが押圧されているときは、トラッキング・スレッドサーボ回路6により光ピックアップ4は96トラック分、CDVディスクの半径方向において内側へと飛び越し駆動される（ステップf）。第2図においては内周へキックと表示してある。

96トラック分飛び越し駆動がされるとステップfに続いて、0.3sec再生される（ステップg）。FB探索キーが押圧されている間、ステップfおよびgが繰返し実行されて、映像が間歇的に表示



されて、CDVディスクの半径方向において内側へと順次搜索されることになる。

(考案の効果)

以上説明した如くこの考案によれば、CDVプレーヤの手動搜索装置において、FF方向に搜索する場合と、FB方向に搜索する場合とで、光ピックアップの1回の飛び越しトラック数を異ならせたため、FF方向とFB方向の視覚上の異和感は解消される。

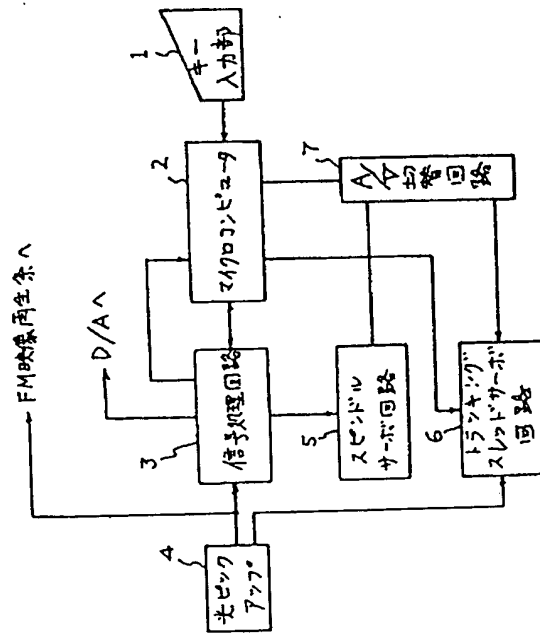
4. 図面の簡単な説明

第1図はこの考案の一実施例の構成を示すブロック図。

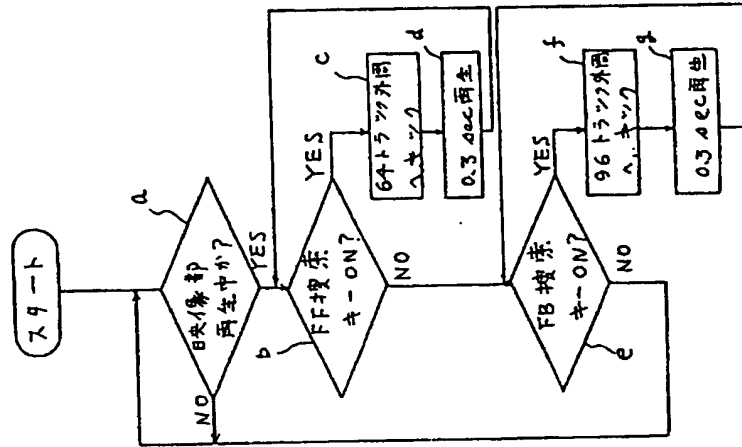
第2図はこの考案の一実施例の作用の説明に供するフローチャート。

1…キー入力部、2…マイクロコンピュータ、
3…信号処理回路、4…光ピックアップ、5…スピンドルサーボ回路、6…トラッキング・スレツドサーボ回路、7…A/V切替回路。

第 1 図



第 2 図



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.